Rotary

奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

Weekly Bulletin Vol.66 No.38　2021–2022　R I 会長 シェカール・メータ　泉大津ロータリークラブ（創立1956.5.4）

# 週報　第3157回

**会　長**　植村　勢彦　**副会長**　原　　正人
**幹　事**　渡辺　万寿　**ＳＡＡ**　西田　佳郎

例会場　　ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
ＴＥＬ　　0725-20-1121
例会日時　毎週金曜日 12:30～13:30

泉大津ロータリークラブ
Izumiotsu Rotary Club

事務局　〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所３Ｆ
TEL.0725-21-9500　FAX.0725-21-9501
メールアドレス　info@izumiotsu-rc.org
ホームページ　http://izumiotsu-rc.org

## 今週の例会（2022年5月13日）

### ■ プログラム

クラブフォーラム
南出　和成　会長エレクト

### ■ 次週のプログラム

5月20日：卓話担当　籔野　信　会員

### ■ 今後の予定

・5月27日：卓話担当　八木　秀富　会員
・6月３日：クラブアッセンブリー
各奉仕部門担当理事

### ■ 祝　誕生日

なし

### ■ 今月のロータリーソング

我等の生業

### 今月の歌

茶つみ

夏も近づく　八十八夜
野にも山にも　若葉が茂る
あれに見えるは　茶つみじゃないか
あかねだすきに　すげの笠

### ■ 先週の例会

### 会長の時間

植村 勢彦　会長

SGDｓは皆さんもよく知っていると思いますが、17の「持続可能な開発目標」があります。1.貧困をなくそう　2.飢餓をゼロに　3.すべての人に健康と福祉を　4.質の高い教育を　5.ジェンダー平等を実現しよう　6.安全な水とトイレを世界中に等、他にもありありますが、ロータリークラブの活動指針にも似ていると思いませんか。

理念は「未来は現状の延長線上にはない」が大前提です。そして「誰一人取り残されない」包摂的であること。２０３０年迄の行動指針に、17ゴールは全て関連しています。主原因は「貧困」と「飢餓」です。取り組む目的は色々ありますが、例えば行政の場合は、行政サービスの向上・企業誘致や税収安定　製造業の場合は、カーボンニュートラルの達成・持続可能な資源利用・将来の新規製品開発の促進　自社の社会課題は、企業価値の向上・ジェンダー平等・新人募集力の強化と働き方改革等があります。例えばロータリークラブの委員会活動に当てはめてみたら、

クラブ奉仕委員会は、８番の働きがいも経済成長も・１６番の平和と公正をすべての人に・１７番のパートナーシップで目標を達成しよう。また社会奉仕委員会は、１３番の気候変動に具体的な対策を・１４番の海の豊かさを守ろう・１５番の陸の豊かさ守ろう。その他の委員会も同じ様な目標とリンクしている部分もありますが、目標を掲げて活動に取り組むには、相当なエネルギーが要ります。私も一経営者としてセミナーにも参加しましたが、この中の会員企業の中で活動されている企業もあるかと思いますが、私どもの弱小企業では、活動までは行きませんが、会社全体で心掛ける事はしています。私がＳＤＧｓのバッチを貰ったのが2年前です、それ迄は関心もありませんでした。たまにJCの現役メンバーが付けているのを見て、それ何のバッチやと聞くと、SDGｓですと返事が返って来ましたが、それでもふーんというような感じでした。テレビなんかで企業経営者がよく付けているので、色合いもいいので、ロータリークラブの例会に付けて行きました。しかしスーツに色々付けるのはあまり好きではないので、真ん中にロータリーバッチを入れて付けていました。と言うのは、目標をたてるのも、活動するのも人です。持続可能な開発目標は、ロータリアン一人一人だと思うようになったのです。「もったいない」例会時の食品ロスをなくすには、事前に連絡するとか、「MYロータリー」の登録をと、RIからも地区からもよく言って来ますが、資料も豊富で勉強になります。日本語に翻訳していますし、とても使いやすくなっております。私の思うには、行く行くは環境にやさしい取り組みで、ペーパーレス化を目指しているのだと思います。ロータリーの友や、ガバナー月信などもデジタル化して、今現在でも地区ホームページでも、毎月のガバナー月信はアップされています。ゆくゆくは無くなるのではと私の想像です。私はよく地球温暖化とか、異常気象と言います。台風は大型化に成るは、干ばつや豪雨被害で農作物が取れません。温暖化で今や米処は、新潟・秋田から青森・北海道に移って行っています。これは人間が、「便利と快適を」求めた結果の環境破壊だと思います。皆さんもご存知の世界で一番貧しい大統領の、ウルグアイのホセ・ムヒカ元大統領が、以前に国連のスピーチで印象に残ったのが、「もしドイツ人の、一家族ごとに持っているほどの車を、インド人もまた持つとしたら地球はどうなってしまうのでしょうか、私たちが呼吸できる酸素はどれくらい残されているでしょうか。」「環境の一番大切な要素は、人類の幸せであることを忘れてはならない。」「消費することだけが、幸せでしょうか」とても印象に残りました。しかし人間が贅沢を覚えたら、なかなか質素な生活には戻れません。節約することは当たり前ですが、無駄遣いは駄目です。最近はカーボンニュートラルとか、温室効果ガス排出量の「２０３０年問題」、「２０５０年実質ゼロ」と言う極めて高い目標を定めています。再生可能エネルギーの太陽光発電や風力発電、地熱発電などの増設が欠かせないものになっております。しかしながら現実問題として風力発電は、海外でも近年温暖化による異常気象で風が吹かなくなったり、太陽光発電は地域によっては日照不足で発電量が低下したりで、目標を達成するにはとても無理が有ります。ここに来て原子力発電も議論に上がっています。あくまで目標であるので、努力義務が何処まで達成するかが問題です。

皆さんの家庭に於いても、ゴミの分別をしていますが、私も気にしてはいなかったのですが、便利な世の中ゆえ、ペットボトル・プラスチックゴミの多い事には驚きました。目方はさほど無いのですが、嵩が多いのにはビックリです。皆さんも一度家庭ごみの実態を、この連休中に確認して見ては如何ですか、多さにビックリすると思います。SDGｓは各自が自覚して、ゴミの削減・省エネ・食品ロス等を心掛けなければなりません、「小さい事からコツコツと」です。

そこでロータリーはI serveです。職業倫理を高め、職業の知識やスキルを、社会のニーズ解決に役立てることです。みんなと一緒に、環境に優しい例会を実行したいと思います。ご協力をお願いします。

## 幹事報告

渡辺　万寿　幹事

○本日、臨時理事役員会を開催致しますので、関係者の方は例会終了後、みやびの間にご参集お願い致します

○来週４月２９（金）、５月６日（金）と2週連続で例会は休会となります。次の例会は５月１３日（金）となりますのでお間違えの無いようにお願い致します

## 委員会報告

○本日例会終了後、社会奉仕委員会を開催致しますので、委員の皆さんよろしくお願いします
（瀧谷　達　社会奉仕委員長）

○職場見学のご案内です。来月５月２０日（金）例会終了後、泉大津税務署にて１４時から所要時間は１時間半程度です。皆様、お忙しい時期だと思いますが ご参加下さいますようよろしくお願い致します
（根尾　玲子　職業奉仕部門担当理事）

○春の家族例会ですが、予定通り６月５日（日）に実施することと致しました。感染対策には充分な対策を施しておりますので、ご家族お誘いの上ご参加頂けるようよろしくお願い致します。詳細な案内は封書で行いますので、ご確認の上、返信をお願い致します（櫻井　善章　親睦活動委員長）

○本日６時３０分より、ホテルレイクアルスター７階の小津で、次年度理事役員会を開催します。次年度予定者の方は出席よろしくお願い致します
（松村　泰英　次年度幹事）

## ■ ビジター

なし

## ■ 出席報告　会員数43名 出席免除１名

| 月日 | 出席数 | 欠席 | 補充 | 出席率 |
|---|---|---|---|---|
| 4/22 | 35名 | 8名 | — | 83.33% |
| 4/1 | 35名 | 8名 | 3名 | 90.48% |

## ■ メークアップ

榎本（4/7 ワールド大阪ロータリーEクラブ）
松内（4/15 親睦活動委員会）
丹農（4/7 和泉南RC）

## ■ ニコニコ箱

・上田ノミニー、本日の卓話宜しくお願いします（植村）
・本日は上田ノミニー、宜しく御願いします
（渡辺）
・上田ノミニー、本日の卓話宜しくお願い致します（西田）
・誕生日祝いありがとうございました（上田）
・欠席のお詫び（泉谷）
・欠席のおわび（西端）
・早退のおわび（中）
・早退のお詫び（藤原）
・早退のおわび（籔野）

| | |
|---|---|
| ニコニコ箱合計 | 16,000円 |
| 累計 | 683,000円 |

## 先週のプログラム

「誰も語らなかった定款・細則の話」

そもそも今日は何でお前が定款・細則の話をするのか？その疑問にまずはお

卓話担当
上田　秀朗　会員

答えしときましょう。ロータリー章典の中に、クラブ会長の資格要件として、クラブの定款・細則に実際的な知識を有することとあります。定款・細則を勉強する過程で生じた疑問から今日の話は出発しています。最初に手続要覧と定款をニャリーイコール、ほぼ同義語として定義させていただきます。それを前提としてお話を進めさせていただきますのでご承知おきください。

実は定款・細則を何に例えれば、皆さんにお分かりいただけるか悩んだわけなのですが、そこで思いついたのがゴルフのルールです。定款と細則の関係をゴルフに例えれば、この中でゴルフをする方はたくさんいらっしゃるかと思いますが、ルールブックとローカルルールの関係に似ています。

## IZUMIOTSU　ROTARY CLUB　第3157回

まずルールブックについて説明しますと、スコットランド、セントアンドルーズに本拠地を置くR&A（ロイヤル・アンド・エンシェント）と米国、ニュージャジー州、リバティコーナーに本拠地を置くUSGA（全米ゴルフ協会）がゴルフ規則を制定し、その解釈も含め、共同してこのゲームを世界的に統括しています。

これに対し、ゴルフ場ごとにプレイ進行を円滑にするために、ローカルルールが定められています。ほとんどの場合、スコアカードの裏側に印刷されています。今日はたまたま聖丘カントリー倶楽部のスコアカードを持参しましたのでご紹介させていただきます。

1，白杭、いわゆるOB、アウトオブバウンズ。2，青杭、これは修理地の表示ですね。3、イエローペナルティエリア、レッドペナルティエリア。4、特設ティ。5、カート道路の定義。6、排水溝の扱い。7，8，9、とありまして、その他はすべてJGAゴルフ規則によるとあります。

さらにプライベートのコンペやプライベートのラウンドでは6インチプレース、ギブアップ、OKパットなどが採用されたりすることがあります。ローカルルールがあることでスムーズなプレイ進行が促され、危険なプレイも防ぐことができます。また上級者とそうでない者も一緒にラウンドができるというメリットも出てきます。

ではいよいよ本題に入りたいと思います。ここに2010年手続要覧があります。厚さ1，5センチ。そしてこれ、2013年手続要覧、厚さ、1センチ。2017年手続要覧、厚さ、7ミリ。最後に2019年手続要覧、判が大きくなって厚さ4ミリ。年々利便性を考慮し、内容が割愛され、薄くなってきています。厚さが薄くなったからといって内容がなくなったわけではありません。割愛版、2020年3月6日改正版。泉大津ロータリークラブメンバーにとっては手続要覧がルールブックで、泉大津ロータリークラブ定款・細則はローカルルールということになります。最初にどちらがありきかと言えば、言うまでもなく手続要覧です。

これが今日の話の大事なところです。

また手続要覧の恣意的、意図的な解釈は許されませんし、それに基づく細則の作成はあってはならないことです。これを再びゴルフに話を戻して考えますと、ルールを恣意的、意図的に解釈すれば、極端な話、AゴルフクラブとBゴルフクラブでルールが違うということになってしまう。そうするとAゴルフクラブとBゴルフクラブのそれぞれのメンバーが一緒にプレイするとトラブルになってしまう。しいては松山英樹のマスターズ初制覇も渋野日向子の全英女子オープン優勝も起こりえなかったということになる。何故って？そもそもルールが共通でないと競技自体が成立しませんからね。いいですか？ゴルフ同様、世界中のロータリアンが同じ理念、同じルールのもとに活動することに意義があるのです。

手続要覧をロータリーのルールブックというのはいいが、こんなもの全部読んでられない、そう思われるのは当然だと思います。そこで私がおすすめするのは、本日資料①としてお配りしたロータリーの基本理念です。ベテランのメンバーは何をいまさらとお思いかとお察しします。しかしこれはロータリー100年にわたる歴史の中で、我々の先輩ロータリアンがつくりあげてきたものです。ロータリーの英知そのものと言っていいでしょう。

手続要覧の個々の個所は必要に応じて読めばよいでしょう。

された部分は「ロータリー章典」のなかに、大部分は現在もおさめられています。

手続要覧の中には、今は2019年版について説明しますが、第1章ロータリーの基本理念に始まり、泉大津ロータリークラブ定款・細則のもととなる標準ロータリークラブ定款、推奨ロータリークラブ細則までおさめられています。

さらにこちら、泉大津ロータリークラブ定款・細則2014年５月20日改正版、同2017年4月７日改正

　手続要覧第1章ロータリーの基本理念にはこれからお話する「決議23－34」も含まれています。「決議23－34」は基本理念の中では「社会奉仕に関する1923年の声明」に該当します。「決議23－34」は泉大津ロータリークラブ定款・細則の最末尾にも掲載されています。それはロータリーの基本理念を語るうえで重要なドキュメントに他ならないからです。「決議23－34」をロータリーの基本理念そのもののように言われる方さえいらっしゃいます。

ところが「決議23－34」が手続要覧から、さらにはロータリー章典からも削除されるという事件が起こりました。実は80年代にも同様の事件がありました。なぜ「決議23―34」が手続要覧から消え、再び記載されるようになったのか、高萩RC「ロータリー情報10分間」(2011-12)に、そのあたりの経緯をしるした記述がありましたので、そのままご紹介したいと思います。

　2007年11月のRI理事会において、ビル・サージント元副会長およびエド・フタ事務総長により、決議23-34号が社会奉仕の理念並びにRIとクラブの原理を正確に記すものではない(RIのポリオ・プラス・プログラムの推進に障害になる)という理由で、これをロータリー章典と手続要覧から削除する提案がなされました。

　当時の日本からの理事（渡辺理事と小沢理事）はこれを阻止すべく、懸命に水面下の交渉を重ね、最終的に執行委員会提案として2008年1月の理事会において、今後の「手続要覧」の改訂版に社会奉仕に関する1923年の声明を歴史的文書として保存すること、および歴史的な価値を有するものとして手続要覧に記載されていることを言及する文を、ロータリー章典に含めることが決定されました。

　そして、翌2009年1月の理事会で、小沢理事の努力により、執行委員会提案として、手続要覧の白いページに1923年の声明の全文を含めるという修正

　2010年手続要覧第8章社会奉仕114pに「社会奉仕に関する1923年の声明」は記載されています。

つまり「決議23-34」は手続要覧2007年版からは消えたが、2010年版からは復活したということになります。

当クラブの65周年記念誌によれば2008年７月25日、臨時総会にて「決議23－34」を細則に加えるとあります。これがいわゆる泉大津ロータリークラブ「決議08－01」ということになります。手続要覧から「決議23-34」が消えた2008年当時、これをクラブの生きた奉仕哲学とすると決議することは、非常に勇気があり、意義があり、そして称賛されるべきことだったと思います。しかし、皆さんよく考えてみてください。

先程ご紹介したように2010年手続要覧からはすでに復活しており、あれほど混迷を極めた2640地区もすでに正常化されています。もうRI・地区とクラブの間にダブルスタンダードは必要ないはずです。

かつて細則改定に携わらせていただいた者の正直な感想を述べさせていただければ、細則に「決議23-34」を掲げる歴史的使命はすでに終了しています。「決議23-34」を細則に付け加えるということは、野球に例えれば、ストライクゾーンを狭くとることに他なりません。ストライクゾーンを狭くとればプロ野球なら間違いなく乱闘騒ぎです。

次に資料①ロータリーの基本理念の「社会奉仕に関する１９９２年の声明」をご覧下さい。

案が決定されました。

　加えて、2010年1月のRI理事会において、ビッチャイ・ラタクル元RI会長の要請により、その重要性に鑑み、社会奉仕に関する1923年の声明を今後の「ロータリー章典」および「手続要覧」に含めること、およびそれ以前の決定を無効にすることにすることが決定されました。

加えて、2010年4月開催のRI規定審議会において、日本からの提案10-182号（実質3地区からの共同提案、2650敦賀、2770埼玉、2550釧路西）により、決議23-34号の第１項をそのままロータリーの奉仕理念とする決議案が上程され、ビチャイ・ラタクルRI元会長の賛成発言などもあり、圧倒的多数で可決されました。（賛成444、反対66）

1992年の声明によりRIはそれまでの社会奉仕の基準を改正したといわれています。

それまでの個人中心の社会奉仕から一歩踏み出し、団体としても地域の問題に取り組ことを奨励するようになりました。

ところが「決議23-34」は個人奉仕プラス自制的な団体奉仕に限定されています。何せこれは、1923年のセントルイス国際大会で、奉仕活動は個人の立場で行うべきという職業奉仕派と、団体としても積極的に行うべきという社会奉仕派との妥協の産物であるからです。

もうほぼ100年前の話です。

もう、いい加減、次の改正では細則から「決議23-34」を削除しませんか？削除しても「決議23－34」がロータリーの基本理念の一部として手続要覧に掲載されている限り、何の支障もありません。むしろ「決議23-34」を細則に掲載することでロータリーの5つの中核的価値の１つ「多様性」を阻害してしまう恐れさえあります。細則から削除する方が「決議23-34」が正しく理解されるようになります。本来、手続要覧と定款・細則はひと続きのものです。細則が手続要覧の意味を変えてはならないのです。

あえてこの場で、細則に「決議23-34」を掲げることにどんな現実的な効果があるかと言いますと、団体奉仕に対する制限、言い換えればストッパーの役割をしているのではないか？もっと穿った見方をすれば、個人奉仕信奉者が団体奉仕をしない言い訳のよりどころするためではないか？そんな疑いさえ抱いてしまいます。それともあえてストライクゾーンを狭くとるのはロータリーの5つの中核的価値の1つ「高潔性」のためでしょうか？

　少し話は変わりますが、I serve ということばを当クラブにおいても時々耳にします。

I serveを直訳すれば（私は奉仕する）になります。これって本当にロータリー用語なのでしょうか？もっといえば、本当にロータリーの奉仕を表現していることばなのでしょうか?I serve（私は奉仕する）に対し、We serve（我々は奉仕する）、これは、もうお分かりの方もいらっしゃるかと思いますが、ライオンズクラブていました。

I serve とWe serveが未分化なのがロータリークラブで、そこから分化しWe serveとなったのがライオンズクラブである、というのが本当のところだと思います。ですから皆さん、今後は「ロータリークラブはI serveで、我々ライオンズクラブはWe serveである」というなかば挑発的なライオンさんの発言には「I serveもWe serveも両方あるのがロータリークラブや」と答えましょう。「うちが元々、本家本元や」と。

まずは我々自身がI serveというのをやめましょう。

ちなみにライオンズクラブのWe serveに対抗するロータリークラブのモットーはService above self（超我の奉仕）です。これも資料①ロータリーの基本理念、国際ロータリーの標語をご覧ください。

　よくロータリーは人づくりといわれます。しかもそのひととは、「奉仕の心の形成」されたひとです。これは奉仕活動でつくられるのではありませんか？目の前に解決すべき地域の問題があれば、ロータリアンやライオンさんである前に、人として何とかしたいと思うのが自然ではないですか？そういう気持ちのひとを一人でも多く作るのがロータリーの使命ではないでしょうか？

もちろん、問題解決にはロータリアン的アプローチ、ロータリー的手法で臨むことは言うまでもありません。

のモットーです。私はロータリアン自らI serveと言う時点で、なかばライオンさんの術中に嵌まっているような気がします。

あるロータリアンが1920年代まで遡って調べたところ、I serveという記述は２回しかありませんでした。これはあくまでも公式な場でという意味です。

初期の職業奉仕の提唱者、アーサー・フレデリック・シェルドンの講演のなかで1回、そしてビビアン・カーターの著作「ロータリーの解析」のなかで１回らしいです。

私も調べてみましたが、ロータリーの奉仕を説明するのに、便宜上、I serveとWe serveを対比させて使われている例がありました。しかし、結論は、ロータリーの奉仕にはI serveとWe serveの両方あり、それがまた「決議23-34」の言わんとするところだとなっ

最後に資料②をご覧ください。ロータリー創成期の定款です。1906年1月に制定され、同年12月には改定されています。この経緯は田中毅「ロータリーの目的」の中で次の様に記述されています。

1906年４月、フレデリック・ツィードがシカゴ・クラブの定款を示しながら、物質的互恵の特典を説明して、ドナルド・カーターに入会を勧めた際、カーターは「社会の利益になることを考える組織は発展するが、自分たちのことだけを考えている組織には将来性はありません。」と言って入会を断りました。物質的互恵と親睦のみに終始することに限界を感じていたポールハリスは、彼の提言を受け入れて、1906年12月に、対社会的奉仕活動を示唆する第3条を追加し、その後続々と創立されたシカゴ以外のクラブは、第3条の「シカゴ市」の部分をそれぞれのテリトリーを表す市名に置き換え、他の部分はほぼそのままの形で使いました。

これが現在では手続要覧（2019）、基本理念の中の「ロータリーの目的」となっています。

もちろん、いくたびもの世界大会での上書きを経ての上です。1906年1月の定款に、同年12月に一項加えたことが、ロータリーの奉仕への第一歩だったと思います。幸か不幸か、疑う余地もなく、ロータリーの歴史は奉仕の歴史です。

「決議23-34」の本当の意味するところも、I serveと言った途端に自己矛盾に陥ってしまうことも、ロータリーの歴史と手続要覧を読み込めば、実はわかることなのです。

ロータリーの歴史は奉仕の歴史だからといって、四六時中、奉仕活動をする気はさらさらありません。物事はバランスが大事です。このバランスについても、我々の先輩ロータリアンは、実に素晴らしいアイディアを用意してくれました。それはロータリーの5つの中核的価値です。先程からのお話の中でも少し触れさせてはいます。ロータリーの歴史に培われた5つの中核的価値とは、ロータリアンが何を優先させ、どのような行動をとるかという基本方針というべきものです。

1　親睦　　2　高潔性　　3　多様性

最終的には、5つの中核的価値を体現した、とはちょっとオーバーですので、十分意識した、バランスの良いロータリアンになっていただきたいのです。

私自身は、泉大津ロータリークラブは「論語読みの論語知らず」でもよいと思っています。

しかも、明治維新につながった革命の儒学、陽明学ではなく、道徳と教養の儒学、朱子学です。江戸時代、「子曰く」とばかりに読者をし、剣術の稽古に励む武士の世が260年以上も続いたのです。

「奉仕の心の形成」のため、港湾清掃もしましょう、献血もしましょう、子共食堂もね、目指すのは、たまには良いこともするロータリーです。「世界でよいことをしよう」、これは確か、ロータリー財団の標語でしたね？しかし、論語すら読まない、読もうともしないというのはいかにもいただけません。

ロータリーの理念を学ぶことは、江戸時代の武士が論語を学ぶのと同様、自らの存在理由のため必要なのです。これには私はいささかの妥協はありません。ロータリーにはロータリーの大義があるのです。

私たちもロータリーの理念を高く掲げ、ロータリーについて学び、たまには良いこともし、そのあとはひたすら親睦に勤しみましょう。さしずめゴルフは剣術の稽古ということになるでしょうか？

みなさんと楽しくやっていこうと思っています。よろ

4　奉仕　　5　リーダーシップ
クラブによっては奉仕を最初に持ってきているところもあります。私は、元々の順序がこのとおりなので、それを尊重したいと思います。ただ残念なことに手続要覧2016年版には掲載されていましたが、2019年度版からは削除されています。

特にロータリー歴の浅い皆さん、ロータリーの扉は5つ開いています。どこから入っていただいても結構です。もちろん親睦からでも。

かくいう私も、ロータリーの5つの中核的価値の1つと称して、親睦に励んでいます。ま、イギリスの劇作家バーナード・ショウも「ロータリーとは昼飯を喰いに行くところ」と皮肉ったぐらいですから、ロータリーの一面に違いありません。ただ公然と「親睦に始まり親睦に終わる」と口外するのはいかがなものでしょうか？

しくおねがいします。

IZUMIOTSU　ROTARY CLUB　　第3157回

# ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基盤として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。
具体的には、次の各項を奨励することにある。

第１　知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。

第２　職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。

第３　ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および 社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。

第４　奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワーク

を通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

# 四つのテスト

＝言動はこれに照らしてから＝

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか